

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 58-101129

(43)Date of publication of application : 16.06.1983

(51)Int.Cl.

C08K 9/00
// B32B 15/08
D06Q 1/00

(21)Application number : 56-200654

(71)Applicant : KONGO FUROTSUKINGU KK

(22)Date of filing : 11.12.1981

(72)Inventor : UENO HIDEO

(54) GLITTERING COMPOSITION

(57)Abstract:

PURPOSE: The titled composition preferably usable in the preparation of a commodity, having improved adhesivity and various gloss, obtained by blending thin pieces of a specific glittering synthetic resin film with a solution of a synthetic resin, synthetic resin emulsion or latex.

CONSTITUTION: A metal (e.g., aluminum, etc.) is deposited on a synthetic resin film (e.g., polyester film, etc.) to form a metallized film, to which a coating compound of a pigment-containing thermosetting resin (e.g., unsaturated polyester resin type) is applied to give a glittering synthetic resin film having a resin layer. The thin pieces of the prepared film having a square of preferably about 0.2W0.5mm are blended with a solution of synthetic resin or synthetic resin emulsion (e.g., acrylic resin, etc.) or latex (e.g., natural rubber latex, etc.), and, if necessary, a crosslinking agent, a catalyst, an anti-foaming agent, etc., to give the desired composition. When it is used, it is applied to cloth, fibers, shoes, hat, etc. and dried.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—101129

⑮ Int. Cl.³

C 08 K 9/00

// B 32 B 15/08

D 06 Q 1/00

識別記号

C A J

庁内整理番号

7342—4 J

6766—4 F

7195—4 L

⑯ 公開 昭和58年(1983)6月16日

発明の数 1
審査請求 有

(全 2 頁)

⑮ 光輝性組成物

⑰ 特 願 昭56—200654

⑱ 出 願 昭56(1981)12月11日

⑲ 発 明 者 上野英雄

河内長野市河合寺714番地

⑳ 出 願 人 金剛フロッキング株式会社

河内長野市河合寺717番地

㉑ 代 理 人 弁理士 倉内義朗 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

光輝性組成物

2. 特許請求の範囲

- 1) 合成樹脂フィルムに金属被膜層を形成し、この金属被膜層上に顔料を含有する熱硬化性樹脂塗料を塗布して樹脂層を形成した光輝性合成樹脂フィルムを切断して得た細片と合成樹脂溶液、合成樹脂エマルジョン又はラテックスとを混合してなる光輝性組成物。
- 2) 上記合成樹脂フィルムがポリエステルフィルムである特許請求の範囲第1項記載の光輝性組成物。
- 3) 上記金属がアルミニウムである特許請求の範囲第1項又は第2項記載の光輝性組成物。
- 4) 上記光輝性合成樹脂フィルムの細片の寸法が、幅0.2~0.5mm、長さ0.2~0.5mmである特許請求の範囲第1項、第2項又は第3項記載の光輝性組成物。
- 5) 上記合成樹脂エマルジョンが、アクリル系

合成樹脂エマルジョンである特許請求の範囲第1項、第2項、第3項又は第4項記載の光輝性組成物。

3. 発明の詳細な説明

本発明は布地、織物、靴、帽子などに塗布して光沢を有する商品を得るための光輝性組成物に関する。

従来、この種光輝性組成物としては、金属粉末又は金属箔を合成樹脂エマルジョンと混合してなるものがあげられる。しかし、この従来の組成物は金属粉末を採用した場合、特に金属粒子の表面積が小さいため画一的な光沢を有する商品しか得られなく、また、金属箔を採用した場合には、被塗布物との接着性が著しく低いという欠点があつた。

本発明は上記欠点を解消するためになされたもので、塗布する商品との接着性が良好で、しかも種々多様な光沢を有する商品を製造するに好適に採用しうる光輝性組成物を提供することを目的とする。

すなわち本発明の要旨は、合成樹脂フィルムに金属を蒸着して金属被膜層を形成し、この金属被膜層上に顔料を含有する熱硬化性樹脂塗料を塗布して樹脂層を形成した光輝性合成樹脂フィルムを切断して得た細片と、合成樹脂溶液、合成樹脂エマルジョン又はラテックスとを混合してなる光輝性組成物に存する。そして必要に応じて、架橋剤、架橋反応の触媒、消泡剤、増粘剤などを混入しうるものである。

本発明において採用する合成樹脂フィルムとしては、延伸又は未延伸のポリエステルフィルム、ポリ塩化ビニルフィルム、ポリ塩化ビニリデンフィルム、ポリアミドフィルム、ポリエチレンフィルム、ポリプロピレンフィルム、ポリアクリルフィルム、ポリスチレンフィルムなどがある。商品との接着性、光沢の点からはポリエステルフィルムが好ましい。合成樹脂フィルムに蒸着させる金属としては、アルミニウム、アルミニウム合金、マグネシウム、マグネシウム合金、チタン、チタン合金、ホワイト

けたのち、いわゆるギョテンカットして行なつてもよい。

合成樹脂溶液または合成樹脂エマルジョンとしてはアクリル系樹脂、スチレン-ブタジオン樹脂、酢酸ビニル樹脂、塩化ビニル樹脂、塩化ビニリデン樹脂、ポリウレタン樹脂又はこれらのブレンド物などを溶液状またはエマルジョン状で用いることができる。またラテックスとしては天然ゴムラテックス、アクリルエステル系ラテックス、酢酸ビニル系ラテックスなどを用いることができる。以上本発明においては種々の合成樹脂溶液、エマルジョンまたはラテックスを用いることができるが、感触、風合および商品との接着力の点からはアクリル系合成樹脂エマルジョンが好ましい。

この合成樹脂溶液、合成樹脂エマルジョンまたはラテックスに対し、任意の割合で光輝性合成樹脂フィルムの細片を混合してもよいが、前者が100重量部に対し後者を10〜50重量部とするのが加工性、応用範囲の広さからも好

メタル、ホワイトメタル合金、ニッケル、ニッケル合金、銀金、白金などほとんどの金属を採用することができるが、光沢性、加工性、経済性、軽重性の点からはアルミニウムが特に好ましい。熱硬化性樹脂塗料としては、たとえば不飽和ポリエステル系のものを採用することができる。この塗料に含有させる顔料としては無機、有機のいずれであつてもよい。

金属被膜層および熱硬化性樹脂層は合成樹脂フィルムの片面だけでも、また両面に設けてもよい。

また金属被膜層および熱硬化性樹脂層を設けてなる光輝性合成樹脂フィルムの細片の形状は三角形、四角形、多角形、円形などいずれであつてもよく、その寸法も製造する商品にどのような光沢を付与するかにより決定されるが、切断性および応用範囲の広さを考慮すれば約0.2mm〜0.5mm角のものが好ましい。この光輝性合成樹脂フィルムの細片化は種々の方法により行なうことができる。たとえばスリッターにか

ましい。

以上のような構成要件からなる本発明の組成物に、必要に応じて架橋剤、触媒、消泡剤、増粘剤などを加えて実際の使用に供する。すなわち本発明の組成物を布地、織物、紙、糊子などに塗布して人工乾燥または自然乾燥を施すと、極めて微妙かつ多様な光沢を有する商品を得ることができる。

以上、詳述した如く、本発明の組成物は種々の商品に有効に適用できるが、合成樹脂フィルムを採用しているので、金属と商品は合成樹脂フィルムを介して強固に結合しており、また種々の顔料を採用することができるので商品に多様な色合いを付与することができ、それと相俟つて光輝性合成フィルムの寸法を任意に変えることもできるので微妙かつ多様な光沢を有する商品を提供でき、しかも合成樹脂溶液、エマルジョンまたはラテックスの採用により得られた商品の感触、風合いがよくなるという優れた効果を奏するものである。